



最近、全国各地で取り組まれている、ごみ対策や脱炭素化。ニュースやインターネットで耳にしたり、目にする機会も増えました。では、この町に住む私たちにできることは何があるのでしょうか。このシリーズでは、ごみ対策や脱炭素化に関連した身近な話題をご紹介します。「ごみのこととか、脱炭素化とか…」みんなで楽しく考えてみましょう。

最終回の第14回目は令和4年4月号でご紹介した「生ごみの水切り、堆肥化」を環境資源課職員が実践しましたので、その結果をお伝えします。

生ごみの減量化・減容化にチャレンジ!

問 資源循環担当
34・1111 内線292

2-15



久喜宮代衛生組合で貸出している、電気式生ごみ処理機(乾燥式)を使って生ごみの堆肥化を実践しました。

家族構成：夫婦、子ども2人（高校生、中学生）
生ごみの平均量：856g/日
主なごみ：料理で出る野菜くず、コーヒーがら、お茶がら、果物の皮など
実践期間：5日間

5日間の実践の結果



今回使用したもの

久喜宮代衛生組合で貸出している 電気式生ごみ処理機(乾燥式)

機種：パナソニック社製 (MS-N53)
2～6人用
寸法：幅 268mm、奥行き365mm、高さ550mm
重量：約12kg
最大処理量：1回約2kg
処理時間：約1kgで3時間(標準モード)
貸出期間：連続した15日以内
(1世帯につき1台、1回限り)



久喜宮代衛生組合では、生ごみ処理機の貸出制度や購入費補助制度を用意しています。申請方法はホームページをご覧ください。



久喜宮代衛生組合

やってみて良かった点、気になる点は?

■良かった点

- ・手間も少なく、操作も簡単で気軽に始められる
- ・乾燥後、生ごみが少なくなり、減量化が実感できる
- ・生ごみ用のゴミ箱感覚でおける
- ・乾燥した生ごみを有機肥料として活用できる

■気になる点

- ・部屋に置くには大きく重いので、置き場所が限られるかもしれない
- ・処理機の稼働中に悪臭ではないものの、独特な臭いがする



屋外対応なので、臭いが気になる人は雨ざらしにならないところに置くといいかも!



処理機で処理できないごみを投入すると堆肥化できず、残ってしまいます



なぜ減量化・減容化が必要なの…?

ごみ処理にとって水分は大敵!! 特に燃やせるごみの処理は水分との闘いと言えます。水分によって、運搬のロス、焼却のロス、という2大エネルギーと処分費のロスに繋がります。ごみに含まれる水分を出来るだけ減らしてエネルギーやお金のロスを防ぎましょう!

今回実践で使用した電気式生ごみ処理機の他に、「水切り」や「ダンボールコンポスト」など、すぐにできる生ごみの減量化の方法があります。詳細は、広報みやしろ令和4年4月号をご覧ください。

連載記事
バックナンバー



(記事ID 21040)

このコーナーでは14回にわたり、サステナブルファッションやエコドライブなど、身近な話題をお届けしてきました。ごみの減量化や脱炭素など、できることから取り組んでみましょう。

みんなで一緒に Let's Try!! ZERO CARBON!!

取り扱った主な記事は…

- ・食ロス削減(令和4年2月号)
- ・地球にも人にも優しいエコドライブ(令和4年5月号)
- ・ファッションから見る環境問題(令和4年9月号)

14回分の記事は左のQRコードから見るができます



資源循環担当職員

これからの地球環境のために、身近なところからはじめてみませんか